



## 5年目を迎えた 活動内容

1年目、2年目は事務局の主導でイベントが行われました。3年目から、それまで参加者だった方々の中から、思いを持った多様な人が人を呼び活動者が集まり輪ができて始めました。

昨年度、源流3地区で定期的な活動を行うことで地域の魅力と課題に対する意識を深め、地区ごとのテーマと講座が生まれました。初年度から続いてきたイベントとともに、現在、令和5年度の活動が進行中です。

今回、野登山山頂はこのままいくとハゲ山になりかねない危機的状況だ！とわかりました。加太地区も坂下地区も、源流域のカギはシカ対策にかかっている?! 10月からは新しいアクションが始まります！

## 活動方針



### 1. 発信する

地域資源に関する情報の収集・整理と市内外への発信

### 2. 参加する

木工、植樹、農作業、生物の観察など各種体験イベントや講座の開催

### 3. つなげる

地域と事業者や関係団体などとの交流・協働・関係づくり

### 4. コーディネイト力を創造する

勉強会や先進地視察の実施、地域におけるコーディネート活動の支援

■ 亀山市鈴鹿川等源流域の自然環境と歴史的資源を守り継ぐ条例  
地域の区分図



## 鈴鹿川等源流の 森林づくり 協議会とは。

亀山市では、「源流域の自然環境と歴史的資源をあらためて見直し、かけがえのない財産として守り次世代へ引き継ぐ」ことを目的として、平成31年に「亀山市鈴鹿川等源流域の自然環境と歴史的資源を守り継ぐ条例」が制定されました。

条例の制定に伴って、市民・事業者・団体・学識経験者・行政で構成する「鈴鹿川等源流の森林づくり協議会」が設立されました。令和元年6月の設立以降、条例の趣旨を踏まえて、鈴鹿川最上流域にある「坂下地区」、鈴鹿川等源流域にある「野登地区」「加太地区」の3地区において、源流域の魅力を再発見し、地域の活性化を目指す取り組みを進めています。

亀山市産業環境部が事務局を務め、活動は、個人会員、企業・団体会員の協賛金と、みえ森と緑の県民税（亀山市負担金）により運営されています。

## 加太地区

### 基本データ

面積：37.6km<sup>2</sup> 小学校・保育所があり都市部からのアクセスが良いため移住希望者は多い一方で、人口減少・高齢化して空き家や休耕地が増えています。獣害の克服は、住みよい町へのひとつのカギです。

### やまびこでスラックライン&加太川での水生生物調査 [8/6]

朝のさわやかな空気を吸い込んで、家族仲良く緑の森でスラックラインを体験。

加太川では、錫杖岳を背景に、水に飛び込み魚を観察しました。



応募イベント

## 野登地区

### 基本データ

面積：37.8km<sup>2</sup> 6地区で構成され、小学校・保育所がある一方で、高齢化や少子化が進み担い手不足が深刻です。野登山山頂には貴重なブナ林や歴史ある野登寺、そして麓には坂本棚田があります。

### 草木は食べ物や薬?! 五感で楽しむ薬樹・薬草 [6/11]

あいにく雨でしたが事前準備したクロモジという木はお茶でいただき、チャノキは染物に。講師からは植物の生態と効能、活用の仕方を学びました。

実、花、幹、根が様々な方法で衣食住や薬に役立ちます。



応募イベント

## 坂下地区

### 基本データ

面積：19.6km<sup>2</sup> 昔は東海道48番目の宿場町としてたいへん栄えていました。山の資源（薪・炭・シキミなど）を商った時期を経て、小学校や保育所がなくなり、亀山一高齢化と人口減少が進んでいる地区です。

### フレンディ®の森で森林・林業体験&鈴鹿峠自然の家で木工工作

11/26(日) 9:30~12:00  
亀山市広報11/1号にて募集  
会員は協議会に直接お申し込みください。  
坂下の人工林で林業体験をしましょう!



応募イベント

### 獣害対策、動物との共生

地域や専門家との協力により、獣害対策やその先進事例について学ぶ機会を設けます。

### 加太地区獣害対策講座 [全4回]

第1回に行ったアンケートによると「柵の設置など対策をしても効果がない」という回答が95%にのぼりました。

6/11(土) 第1回では、専門家により、ただ設置するだけでなくまず周囲の環境と動物の習性を把握して初めて適切な対策ができる、と学びました。7/17(土) 第2回では、成功した事例を視察し希望や勇気が湧きました。8/26(土) 第3回では、「集落点検」を行いました。実際に被害地を歩き被害がなぜ起きるのか動物の生態や周囲の環境から考え設置している柵がなぜ効果がないのかを考えました。



10/7(土) 9:30~ 第4回(最終回)では、個人で改善できること、集落で取り組む必要があること、行政の協力が必要なことなどを整理し今後のアクションについて考えます。その後は、引き続き加太地区まちづくり協議会と協力して、地域の方が対策に参加しやすい場づくりをしていきます。

R5地区テーマ

地区講座

今後の展開

### 野登山山頂周辺の環境保全

地域と協働して、野登山山頂周辺の貴重なブナ林や数百年生のスギ林を自然環境や文化の面から観察し、森林の保全について学びます。学びの成果を記録して次世代につなぎます。

### 野登山山頂の自然環境と歴史 [7/22]

実際ブナ林に立つと、高さ2m以下に植物が「ない!」という風景を目にしました。講師の鳥丸三重大准教授から、ブナ林では種子が芽吹いてもシカに食べられて育っていないことが伝えられました。ほかの樹木、ササも同様です。

野登寺の道山住職によると、豊作を願ってお参りした人は、札とともにササの葉を摘んで持ち帰り苗場に置いたそうです。環境が変化すると地域の慣習も失われてしまいます。



R5地区テーマ

地区講座

今後の展開

### (1) 源流域の自然について深く知る

坂下地区の森林や地域資源に関心のある人が最初を知っておくべき知識を学びます。

### (2) 森林教育リーダーの養成

市内外で野外保育や体験教育などの機運が高まる中、保育士や幼稚園教諭、保護者などがスキルを磨き、仲間づくりを目指します。

### 身近にある資源について考えよう [7/16]

(1) NPO 法人地域資源ネットワーク理事の坂本博士から、当たり前と思って気にもしていない資源や生活道具の使い方、資源を運ぶ際の環境負荷についてなど、新しい視点をたくさんいただきました。

その後、「地域資源とは何か」「その資源で何が出来るか」をみんなで考えました。

### (2) 10/29(日) 9:30~ 森林教育指導者養成講座

11/11(土) 9:30~ 「鈴鹿川等源流の森林づくり講座(2)」 亀山の自然条件や社会条件、森林の現状を踏まえ、大きな視点から亀山市における今後の森林づくりについて専門家による提言を聴き、考え、来年度以降の協議会活動に反映します。

12/9(土) 9:30~ 「鈴鹿川等源流の森林づくり講座(3)」 災害防止などの視点で「坂下地区」の森林づくりを考えます。

R5地区テーマ

地区講座

今後の展開

# 鈴鹿川等源流の森林づくり協議会 会員 (令和5年度9月現在)

## ●企業/団体会員34社 個人会員6名

1 浅野アタカ株式会社 亀山事業所	18 住友金属鉱山シボレックス株式会社 三重工場
2 株式会社安全	19 関チップ工業株式会社
3 有限会社井田川清掃	20 株式会社セキデン
4 株式会社エフテック 亀山事業所	21 株式会社大紀アルミニウム工業所 亀山工場
5 株式会社オーネックステックセンター	22 有限会社豊田衛生
6 株式会社かとう製菓 三重工場	23 株式会社豊田自動織機
7 亀山急送株式会社	24 日鉄環境エネルギーソリューション株式会社 亀山事業所
8 株式会社カメヤマテック	25 株式会社百五銀行 亀山支店
9 協同油脂株式会社 亀山事業所	26 株式会社ブラザチェーン
10 三栄林産株式会社	27 一般社団法人三重県建設業協会亀山支部
11 株式会社ジェイテクト 亀山工場	28 諸戸コーポレーション株式会社
12 株式会社ジェイテクトサープレット 亀山工場	29 安田木材有限会社
13 シャープディスプレイテクノロジー株式会社	30 株式会社山西
14 昭和ボックス株式会社 亀山工場	31 株式会社ユーバック
15 有限会社シラカワ	32 リケンテクノス株式会社 三重工場
16 鈴鹿森林組合	33 株式会社リングリング
17 株式会社スチールセンター 亀山事業所	34 株式会社ロジックス 亀山S.M.C

## ●「企業の森」で亀山市の森林づくりに尽力

・味の素 AGF 株式会社 [フレンディ®の森] ・株式会社エイテワン亀山製作所 [エイテワンの森]

## ●イベントや講座の委託・支援、助言・協力など

・亀山商工会議所 ・亀山市林業研究会 ・亀山里山公園みちくさ管理運営協議会 ・森林施業認定 NPO 法人森林の風  
 ・野登地区/坂下地区/加太地区 各まちづくり協議会 ・三重大学生物資源学部 ・亀山市文化財保護審議会委員  
 ・四日市農林事務所森林/林業室 ・三重森林管理署

## ●イベントや講座への参加、スタッフとしての協力など ・準会員 17名

## ●事務局、みえ森と緑の県民税から負担金の拠出 ・亀山市

## 会長より 安田 正

鈴鹿川等源流の森林づくり協議会は、亀山の山々を擁する源流域の恵みを保存・継承していくため、その土地と共に暮らすに目を向けられるよう様々な体験イベントや学びの場を提供しています。

多くの人の思いが交わり、それが次の活動へ転化する協議会 (=プラットフォーム) を目指します。

現在、市民や事業所など様々な立場の人が会員・準会員として参加し、地域を守り、つなぐ活動を行っています。ぜひ私たちとともに考え、一緒に取り組んでください。



## 鈴鹿川等源流の森林づくり協議会 事務局 ※市外局番は [0595]

### ●亀山市産業環境部 【代表番号】 84-5068

#### ・商工観光課のグループ

商工業の振興・企業・勤労者福祉など 【商工業振興G】 84-5049

観光振興・亀山ブランド・亀山7座など 【観光・地域ブランドG】 84-5074

#### ・農林振興課のグループ

農業・畜産・林業振興・森林環境保全など 【農林政策G】 84-5068

土地改良・農林業施設の管理など 【農林施設G】 84-5082

#### ・環境課のグループ

地球温暖化対策・脱炭素推進・環境保全など 【環境創造G】 96-8095

廃棄物の収集・減量化・廃棄物処理施設管理など 【廃棄物対策G】 82-8081

#### ・生物多様性・獣害対策室 96-8588

有害鳥獣農作物及び樹木等の被害防止・生物多様性・里山公園の管理など

# 鈴鹿川等源流の森林づくり協議会

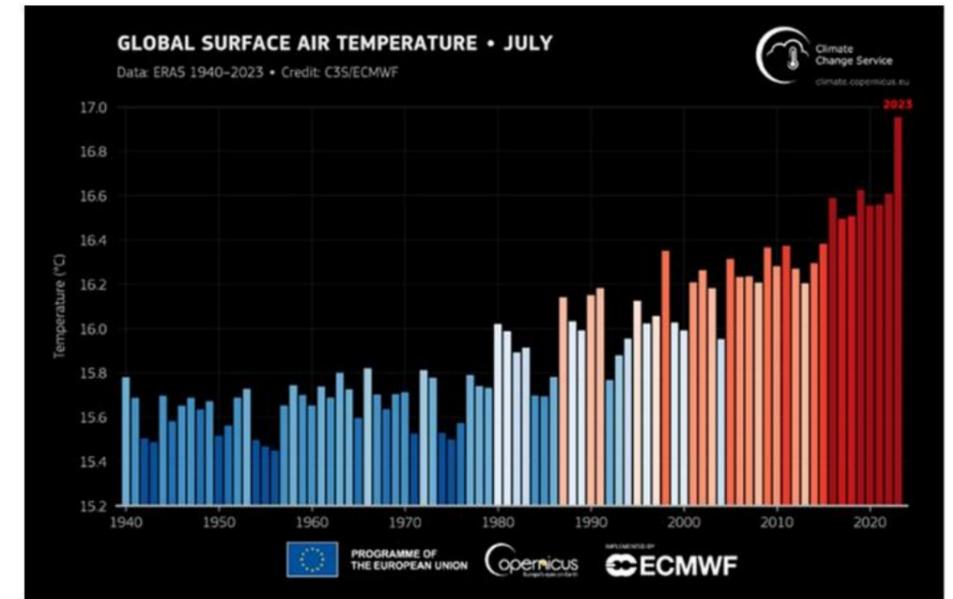


# … 協議会ニュース …

令和5年9月 [創刊号]

「地球温暖化の時代は終わり、  
地球沸騰化の時代が到来した。」

アントニオ・グテーレス国連事務総長  
国連本部での世界気象機関の最新の報告発表 (7月27日) 時のコメント



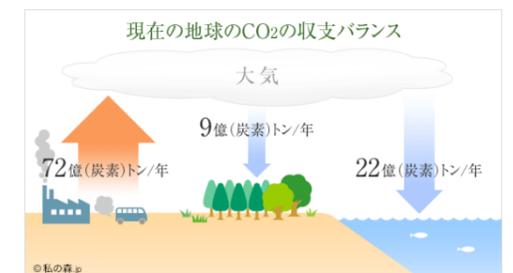
1940年から2023年までの7月の世界の地表気温の推移 Data: ERA5. Credit: C3S/ECMWF

7月に記録した世界的な猛暑は、「地球温暖化の影響がある時突然にやってくるのではなくすでに始まり進行している」ということを身をもって実感する出来事でした。

主な温室効果ガスである二酸化炭素を掃除機のように吸い込んでくれる何かを誰かが発明しない限り…。冒頭のコメントに続き国連総長は「劇的かつ早急な気候アクションの必要性」を訴えています。

2010~2019年の10年間に人間活動によって排出されたCO<sub>2</sub>は、46%が大気中に蓄積し、23%が海洋に吸収され、31%が陸域生態系の植生に貯蔵されます (IPCC 気候変動に関する政府間パネル第6次評価報告書)。

そして、人為的なCO<sub>2</sub>排出の総量のうち、81~91%が化石燃料の燃焼によるもので、残りが森林減少、劣化などに由来するとされています。



IPCC第4次報告をもとに作られた図。(私の森.jpから引用)  
陸域・海域あわせて31億(炭素)トン/年の吸収量であるのに対し、排出量が72億(炭素)トンで41億(炭素)トン/年が大気に蓄積される。